

# 車いす降りてダンス

大崎重症心身障害児(者)を守る会(大友祥子会長)のクリスマス会は二十三日、大崎市保健福祉プラザで行われ、食事や歌、踊りなどをし

て楽しいひとときを過ごした。

ヤスコなどを展開するイオングループは、労使双方が従業員一人当たり毎月五十円ずつ積み立てる「イオン社会福祉基金」

を設け、福祉施設やボラ

ンティア活動などへ給付を行っており、クリスマス会もその一環。

三回目となる今年は、

当事者や会員、同店の従業員、ボランティアの宮

城誠真短大生ら約四十人が参加した。ステージ

では、従業員たちが「きよしこの夜」をハンドベルで演奏し、ジャズ調に

アレンジした「シングルベル」「赤鼻のトナカイ」

に合わせたダンスも披露。途中からは来場した

みんなもダンスに加わり、車いすから降りて

もらい笑顔で踊る姿もあった。

また、同店からはクリスマスケーキやしなど

も提供され、みんなで味わいながら懇談。菓子の

詰め合わせクリスマスア

ーツもプレゼントされた。

大友会長は「会の方だ

けでは開催できなかった。毎年協力してくださる皆さんに感謝したい」と話していた。

ハンドベル演奏を披露するジャスコ古川店の従業員たち



と話していた。

けでは開催できなかった。毎年協力してくださる皆さんに感謝したい」

と話していた。